

# いかないの？ みやぎ。

## みやぎ復興スタディツアー

### 現地学習会

2015年

11/20(金)

~

11/23(月)

参加対象 18~35歳程度の方  
募集人数 15名(先着順)  
申込締切 9月25日(金)  
参加金額 48,000円



復興の足掛かりになった女川駅

少し離れると工事の真っ最中

### 現地で当時を学ぶ

皆さんは、宮城県の復興状況を知っていますか。ニュースでは岩手県や福島県のことばかりがクローズアップされていますが、宮城県でも津波の被害がありました。

震災から4年経過し、復興が進んでいる今を見て、静岡で発災した時にどうすれば良いか考える必要があるのではないのでしょうか。

普通の旅行では体験できないことをしてみませんか。



大活躍の  
トレーラーハウス

いずれも  
宮城県の  
ほんの一部です。

分からないことなど何でも構いません。  
一度、お問い合わせ下さい。

主催・問い合わせ

静岡県青年団連絡協議会  
TEL: 054-254-2006  
E-mail: shizuokaseinen@gmail.com  
担当 社会教宣部

※参加にあたってのお願い

本学習会は全4回となっております。  
1回目 事前学習会 10月24~25日  
2回目 現地学習会 上記参照  
3回目 事後学習会1 12月12~13日  
4回目 事後学習会2 1月30~31日  
全日程参加を宜しくお願い致します。  
現地学習会では旅行保険に加入します。

みやぎ復興  
スタディ  
ツアー

事業スケジュール



事前学習会

日	時	内容	食事
10/24	19:00	受付・開会式	
	19:45	スタディ① アイスブレイキング	
	21:00	交流会	
	23:30	就寝	
10/25	8:00	朝食	○
	9:00	スタディ② 震災体験談の講話	
	12:00	昼食	○
	13:00	スタディ③ 宮城県に関する学習	
	16:45	解散	

現地学習会

日	時	内容	食事
11/20	20:30	静岡県青少年会館集合	
11/21	5:00	静岡県青少年会館出発	
	↓	朝食(車内)	×
	13:00	昼食	○
	14:00	スタディ① 山元町での学習 りんごラジオの取り組みを始め、当時の体験談を聴講します。	
	18:00	夕食	○
	19:00	スタディ② 地元青年を交えたディスカッション 宮城県青年団連絡協議会の方々と意見交換をします。	
	21:30	地元青年を交えた交流会	
	23:00	就寝	
11/22	7:00	朝食	○
	8:00	スタディ③ 石巻市での学習 石巻市の様子と震災遺産の視察をします。 ※震災遺産:後世に震災の記憶や教訓を伝えるための建物などのこと。	
	12:00	昼食	○
	13:00	スタディ④ 女川町での学習 女川駅の構想にアイデアを出した地元青年とのディスカッションや復興商店街でのデザイン タイルづくり体験をします。	
	18:30	夕食	○
11/23	7:00	静岡県青少年会館到着	

※内容については、現在調整中のため、変更の可能性があります。  
 ※食事欄の「○」は主催者で用意します。「×」は各自持参願います。  
 ※この他、事後学習会がありますので、全日程参加をお願いいたします。



# みやぎ復興スタディツアー参加申込書

平成27年 月 日

静岡県青年団連絡協議会

会長 鷺坂 学 様

参加者氏名	フリガナ	性別	血液型
		男 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	年齢	満 歳
現住所	〒 -		
参加者携帯電話	( ) -		
研修中の緊急連絡先	氏名	続柄	電話番号 ( ) -
青少年団体やボランティアなどの活動歴			
参加動機			
現地で聞いてみたいことなどをご記入ください			
その他質問などありましたらご記入ください			

学習日程	事前学習 10/24～25	現地学習 11/20～23	事後学習1 12/12～13	事後学習2 1/30～31
参加可否				

参加可否欄に○×の記入をお願いします。

※個人情報厳正に管理し、本事業以外の目的で使用することはありません。

なお、個人情報の一部を研修資料に名簿として掲載させていただきますのでご了承ください。

必要事項を記入し、以下に示すいずれかの方法でお申込みください。

- 1、郵送 〒420-0068 静岡市葵区田町1-70-1 社会教宣部宛
- 2、FAX 054-254-2006
- 3、MAIL shizuokaseinen@gmail.com

当時の記憶を保存するための  
震災遺産

各所で進む復興の様子



石巻市

現地には  
私たちの  
「知らない」が  
たくさんあります

女川町

全線開通したばかりの  
石巻線女川駅



山元町

早期復興を祈念して  
営業した宿泊施設



震災直後から  
活躍したラジオ局



復興に向けた新規産業として始まった  
デザインタイル